



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ギア工業株式会社

コード番号 6356 URL <http://www.nippon-gear.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 治夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 林 秀樹 TEL 0466-45-2100

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第2四半期 | 4,407 | 5.5 | 522 | 67.4 | 524 | 68.9 | 352 | 68.6 |
| 28年3月期第2四半期 | 4,176 | 0.7 | 312 | 180.4 | 310 | 171.4 | 209 | 181.8 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第2四半期 | 24.87 | 24.87 |
| 28年3月期第2四半期 | 14.75 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 29年3月期第2四半期 | 10,244 | 7,138 | 69.7 | 503.04 |
| 28年3月期 | 10,361 | 6,840 | 66.0 | 482.02 |

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 7,138百万円 28年3月期 6,840百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 2.00 | — | 3.00 | 5.00 |
| 29年3月期 | — | 3.00 | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | — | — | 2.00 | 5.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|-----|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,700 | 0.8 | 710 | △0.9 | 710 | 0.5 | 490 | 3.8 | 34.53 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 29年3月期2Q | 14,280,000株 | 28年3月期 | 14,280,000株 |
| 29年3月期2Q | 89,494株 | 28年3月期 | 89,344株 |
| 29年3月期2Q | 14,190,556株 | 28年3月期2Q | 14,191,743株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (3) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第2四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、力強さを欠くものの緩やかな回復基調が続いていて、個人消費は、総じて底堅い動きとなっております。企業収益は業況判断に慎重さがみられ、企業の設備投資は投資意欲に腰折れはしていないものの、持ち直しの動きに足踏みがみられました。海外経済は米国を中心とした先進国で緩やかな回復が続いており、アジア新興国等においては中国に弱さがみられるものの、全体としては緩やかではありますが回復基調が継続しております。

当社のセグメント別受注概況は、歯車及び歯車装置事業ではバルブ・コントロール及びその他の増減速機が増加したことにより、受注は増加いたしました。歯車につきましてはその他産業機械用が増加したことにより、受注は増加いたしました。これにより歯車及び歯車装置事業としての受注は増加いたしました。工事業では公共工事等の増加により、受注は増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の受注高は45億56百万円（前年同期比11.5%増）、売上高は44億7百万円（前年同期比5.5%増）となりました。一方、当第2四半期会計期間末の受注残高は34億65百万円（前期末比4.5%増）となりました。

損益面につきましては、原価低減、経費削減に努めた結果、営業利益は5億22百万円（前年同期比67.4%増）、経常利益は5億24百万円（前年同期比68.9%増）、四半期純利益は3億52百万円（前年同期比68.6%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

歯車及び歯車装置事業のうち、バルブ・コントロールの受注高は、輸出、石油向けが減少いたしました。火力発電所、原子力発電所、鉄鋼向け、補修用部品が増加したことにより、前年同期比16.6%増加いたしました。売上高は、原子力発電所、輸出、上下水道、船舶向けが減少いたしました。火力発電所、石油、鉄鋼向け、補修用部品が増加したことにより、12.2%増加いたしました。ジャッキにつきましては、液晶関連の設備投資の抑制により、受注高は前年同期比4.8%減少し、売上高も前年同期比8.9%減少いたしました。その他の増減速機につきましては、受注高は前年同期比17.7%増加し、売上高も前年同期比13.1%増加いたしました。歯車の受注高は、建設機械用が減少したものの、鉄道・船舶用、その他産業機械用が増加したことにより、前年同期比10.8%増加いたしました。売上高は鉄道・船舶用が若干増加したものの、その他産業機械用が大幅に減少したことに加え、自動車用、建設機械用も減少したことにより、前年同期比13.4%減少いたしました。以上の結果、歯車及び歯車装置事業では、受注高は前年同期比12.1%増加、売上高も前年同期比4.7%増加いたしました。

工事業につきましては、受注高は原子力発電所向けが減少いたしました。上下水道、石油・化学向けが増加したため、前年同期比10.3%増加いたしました。売上高は火力発電所、原子力発電所、石油・化学向けが増加したため、前年同期比7.5%増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ82百万円減少し76億38百万円となりました。これは主に現金及び預金が7億18百万円増加いたしました。売上債権が7億72百万円、たな卸資産が20百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ34百万円減少し26億6百万円となりました。これは主に前払年金費用が79百万円増加いたしました。有形固定資産が91百万円、無形固定資産が13百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ2億64百万円減少し23億73百万円となりました。これは主に仕入債務が98百万円、社債が40百万円、賞与引当金が30百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ1億50百万円減少し7億33百万円となりました。これは主に長期借入金が1億5百万円減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ2億98百万円増加し71億38百万円となりました。これは主に利益剰余金が3億10百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前事業年度末に比べ7億18百万円増加し33億76百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、10億4百万円(前年同四半期比42.9%増)となりました。これは主に、税引前四半期純利益5億24百万円、減価償却費1億28百万円、売上債権の減少7億72百万円等の収入に対し、仕入債務の減少98百万円、法人税等の支払額1億79百万円等の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、45百万円(前年同四半期比39.2%減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出25百万円、投資有価証券の取得による支出17百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、2億40百万円(前年同四半期比35.0%増)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1億10百万円、リース債務の返済による支出47百万円、社債の償還による支出40百万円、配当金の支払額41百万円によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年10月28日に公表しました数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に対する影響額は軽微であります。

(3)追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成28年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,657,751 | 3,376,463 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,915,724 | 2,142,821 |
| 商品及び製品 | 121,347 | 128,864 |
| 仕掛品 | 527,773 | 516,177 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,225,801 | 1,209,424 |
| その他 | 271,801 | 264,386 |
| 流動資産合計 | 7,720,200 | 7,638,139 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 1,013,291 | 1,013,291 |
| その他(純額) | 936,326 | 845,261 |
| 有形固定資産合計 | 1,949,617 | 1,858,552 |
| 無形固定資産 | | |
| | 107,271 | 94,009 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 441,977 | 441,850 |
| 前払年金費用 | 80,461 | 159,994 |
| その他 | 67,219 | 57,587 |
| 貸倒引当金 | △5,200 | △5,200 |
| 投資その他の資産合計 | 584,458 | 654,232 |
| 固定資産合計 | 2,641,347 | 2,606,793 |
| 資産合計 | 10,361,547 | 10,244,932 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,465,852 | 1,367,774 |
| 1年内償還予定の社債 | 40,000 | - |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 221,600 | 216,600 |
| 未払法人税等 | 194,960 | 184,309 |
| 賞与引当金 | 311,075 | 280,534 |
| その他 | 404,469 | 323,890 |
| 流動負債合計 | 2,637,958 | 2,373,109 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 435,600 | 329,800 |
| 環境対策引当金 | 23,541 | 23,541 |
| 資産除去債務 | 185,219 | 182,663 |
| その他 | 239,068 | 197,422 |
| 固定負債合計 | 883,428 | 733,427 |
| 負債合計 | 3,521,387 | 3,106,536 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成28年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,388,800 | 1,388,800 |
| 資本剰余金 | 848,348 | 848,348 |
| 利益剰余金 | 4,517,270 | 4,827,666 |
| 自己株式 | △32,817 | △32,863 |
| 株主資本合計 | 6,721,601 | 7,031,951 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 118,559 | 106,395 |
| 評価・換算差額等合計 | 118,559 | 106,395 |
| 新株予約権 | — | 48 |
| 純資産合計 | 6,840,160 | 7,138,396 |
| 負債純資産合計 | 10,361,547 | 10,244,932 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|------------|---|---|
| 売上高 | 4,176,860 | 4,407,730 |
| 売上原価 | 2,941,369 | 2,962,513 |
| 売上総利益 | 1,235,490 | 1,445,217 |
| 販売費及び一般管理費 | 923,428 | 922,956 |
| 営業利益 | 312,061 | 522,260 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 132 | 13 |
| 受取配当金 | 6,937 | 7,449 |
| 受取保険金 | — | 4,270 |
| その他 | 3,922 | 1,965 |
| 営業外収益合計 | 10,992 | 13,698 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 11,174 | 8,548 |
| その他 | 1,277 | 2,786 |
| 営業外費用合計 | 12,451 | 11,334 |
| 経常利益 | 310,602 | 524,624 |
| 特別利益 | | |
| 受取補償金 | 7,522 | — |
| 特別利益合計 | 7,522 | — |
| 税引前四半期純利益 | 318,125 | 524,624 |
| 法人税等 | 108,823 | 171,656 |
| 四半期純利益 | 209,301 | 352,968 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 318,125 | 524,624 |
| 減価償却費 | 159,577 | 128,548 |
| 受取利息及び受取配当金 | △7,069 | △7,462 |
| 支払利息 | 11,174 | 8,548 |
| 為替差損益(△は益) | 0 | 23 |
| 有形固定資産除却損 | 62 | 1,601 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △2,326 | △30,541 |
| 退職給付引当金及び前払年金費用の増減額 | △71,637 | △79,533 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 818,367 | 772,902 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 23,012 | 20,456 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △274,469 | △98,077 |
| その他 | △214,013 | △56,221 |
| 小計 | 760,805 | 1,184,868 |
| 利息及び配当金の受取額 | 7,069 | 7,462 |
| 利息の支払額 | △10,888 | △8,469 |
| 法人税等の支払額 | △54,016 | △179,485 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 702,969 | 1,004,375 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △71,949 | △25,544 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △600 | - |
| 資産除去債務の履行による支出 | - | △4,700 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2,184 | △17,562 |
| その他 | △321 | 2,192 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △75,055 | △45,615 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 100,000 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | △136,000 | △110,800 |
| リース債務の返済による支出 | △58,915 | △47,345 |
| 社債の償還による支出 | △40,000 | △40,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △107 | △45 |
| 配当金の支払額 | △42,838 | △41,833 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △177,861 | △240,024 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △0 | △23 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 450,052 | 718,712 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,252,340 | 2,657,751 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,702,392 | 3,376,463 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|---------------------------|-----------|-----------|-----------|
| | 歯車及び歯車装置 | 工事 | |
| 売上高 | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 2,934,624 | 1,242,235 | 4,176,860 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 2,934,624 | 1,242,235 | 4,176,860 |
| セグメント利益 | 28,204 | 283,857 | 312,061 |

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)
該当事項はありません。
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|---------------------------|-----------|-----------|-----------|
| | 歯車及び歯車装置 | 工事 | |
| 売上高 | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 3,071,870 | 1,335,860 | 4,407,730 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 3,071,870 | 1,335,860 | 4,407,730 |
| セグメント利益 | 119,301 | 402,959 | 522,260 |

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)
該当事項はありません。
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期累計期間のセグメント利益に対する影響額は軽微であります。